

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 フェニックス・ニューブリッド <small>アルファ</small> $\alpha$	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.490	$\Delta$ RG 0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  $4\frac{3}{4}$  インチ

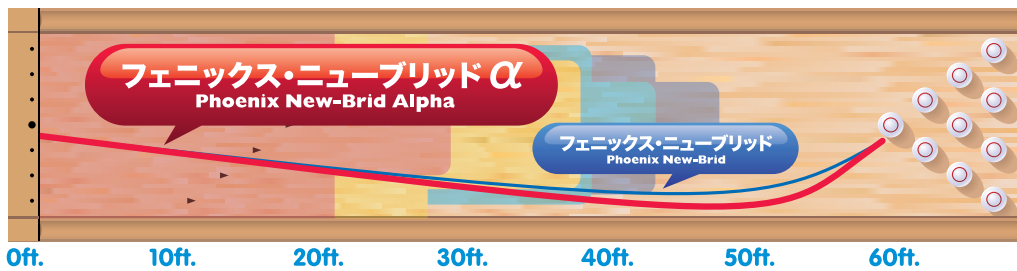
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：フェニックス・ニューブリッド**

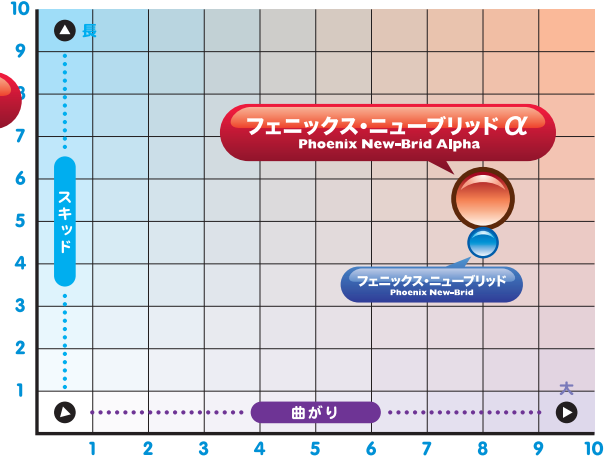
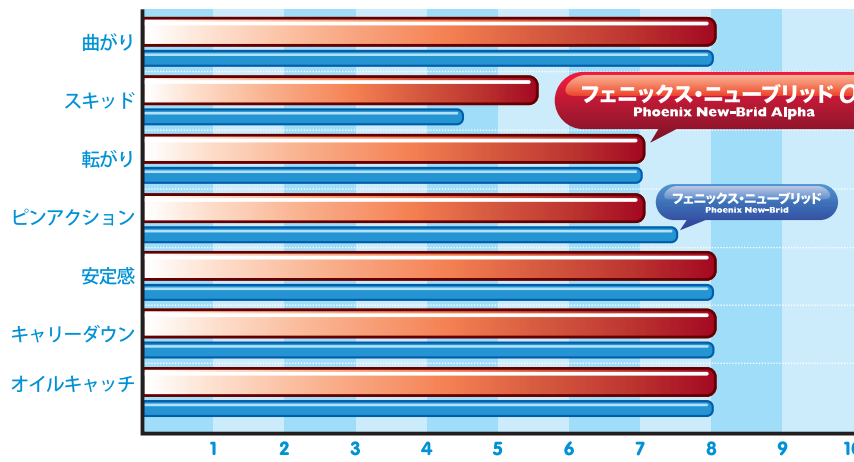
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  $4\frac{3}{4}$  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil	Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle	Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

前回発売されたフェニックス・ニューブリッドは即日完売に至り、今をもってさえそのボールを探している方も多く、続編を望む方も多いためです。今回のフェニックス・ニューブリッド  $\alpha$  (以下、アルファ)は緩やかに曲がり始める特性をバックエンドでメリハリ感のあるリアクションに設定変更致しました。私の投球したイメージは、以前のフェニックス・ニューブリッドと投げ比べると、スキッド感はやや長めに感じ、動き始めてから緩やかに弧を描いていたリアクションから先での動きが強調されています。私は以前のフェニックス・ニューブリッドは大きく出して戻すことは難しかったのですが、このアルファは先での動きが強調されている分、出し戻しが利き、板目を多く使っても戻る感じがします。コンディションによってはアルファの方が曲がり大きいとさえ感じるほどキャッチ力とリアクションのバランスは最高峰です。フェニックス・ニューブリッドに関する市場調査の中で、実際使いづらいつと感じた方の一番多かった回答は「先での動きが甘く感じる」ということでした。我々開発チームはそのバックエンドでの動きを強化し、一人でも多くの方にこのアルファを使用して頂き、好感を持って頂く為に、このアルファが生まれました。実際、テスターの山本勲プロや岡部プロはこのボールをトーナメント会場に持ち込み、攻撃的にラインを攻めています。フェニックス・ニューブリッドを使用し、先での動きに物足りなさを感じた方に、是非このボールと比較して頂き、そのリアクションの良さを感じて頂けたらと思います。

### 特記事項

**爆発的人気を誇ったフェニックス・ニューブリッドの後継版。トーナメントでのメインボールになります。即日完売の恐れあり。情報入手と共にオーダーはお早めに！**